

第4単元 角の大きさ①

問題番号	配点	解 答(許容)	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	20 (各5)	① 90 ② 2 ③ 360 ④ 90	<b>知技</b> 90°を1つの単位として、1直角=90°、360°=4直角であることを理解している。	1直角=90°、2直角=180°、3直角=270°、4直角=360°であることを図を使って確認する。
②	30 (各10)	あ 30 (±1°) い 300 (±1°) う 240 (±1°)	<b>知技</b> 分度器を使って、角の大きさを正確に測ることができる。	分度器の0°の線を角の1つの辺に合わせ、目盛りを0から読むように気をつけさせる。
③	30 (各10)	あ 130 い 40 う 140	<b>知技</b> 直線が180°であることをもとにして、角の大きさを求めることができる。	直線は、2直角であることを確認し、角度も量の加法性が成り立つことについて理解させる。
④	20 (各10)	(略)	<b>知技</b> 定規や分度器を使って、正確に作図することができる。	枠の中に基準となる線を1本引き、それに角や辺をかき加えさせる。

第4単元 角の大きさ②

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	① え、か (順不同) ② い、お (順不同)	<b>思判表</b> 角の大きさを柔軟にとらえ、角の大きさの見当をつけている。	1直角=90°、2直角=180°、3直角=270°、4直角=360°であることを使って見当をつけられるようにする。
②	あ…③ い…① う…②	<b>思判表</b> 角の大きさを加法的にとらえ、2つの三角定規の角の和や差を求める式を選択している。	三角定規のそれぞれの角の大きさを確認し、いろいろな角をつくる活動をする。

▶思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	5～4問	3～2問	1～0問

▶主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、学習の感想とさらに学習したいことの2観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、学習の感想とさらに学習したいことのどちらか1観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、学習の感想とさらに学習したいことが書かれていない。